

大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム第2次中期計画における本学の取り組みについて

和洋女子大学は大学コンソーシアム市川の構成大学として、同コンソーシアムの中期計画の計画遂行に関わることが求められている。よって、大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム第2次中期計画の取組目標に連動し、その取組目標に対する活動指標に対応すべく、和洋女子大学の個別の活動指標等を次のように定める。

【大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォームの取組目標と活動指標及び本学の活動指標】

市川PF の取組目標	市川PF の活動指標	本学の活動指標
① 経営マインドを持ち地域活性化に貢献する人材の育成	経営関連科目を含める形で毎年80 科目以上の科目を開放する単位互換制度を堅持し、市川市の現代社会的課題を扱う共同開発プログラム「市川学Ⅱ」を通じて、地域活性化に貢献する人材を 2028 年度までにのべ150 人以上育成する。それとともに、市川市に貢献している地元企業と個別に連携協定を結び、協働して地域活性化に資する事業を実施する。	市川PFの取り組み目標の実現に寄与できる科目5科目以上を含め合計40科目以上の単位互換科目を提供する。「市川学Ⅱ」の履修希望者数を2028 年度までにのべ40人以上とする。
② ゆとりある子育て環境の実現と人材の育成	子育て環境を知る学習を複数大学間で展開させていくと共に、2028 年度までにのべ 250 人以上の学生に市川市を中心とする地域での就職機会を提供し、地元就職率の向上を図る。	子育て環境を知る学習を複数大学間で展開させていくと共に、2028 年度までにのべ100人以上の学生に市川市を中心とする地域での就職機会を提供し、地元就職率の向上を図る。
③ 少子高齢化社会に対応できる地域医療・福祉	医療・看護・福祉関連科目を含める形で2028年度まで毎年80科目以上を開放する単位互換制度を堅持し、市川市の現代社会的課題を扱う共同開発プログラム「市川学Ⅱ」を通じて、市川市で進行する少子高齢化社会に対応できる人材を2028年度までにのべ150人以上育成する。	市川PFの取り組み目標の実現に寄与できる医療・看護・福祉関連科目を7科目以上含め合計40科目以上の単位互換科目を提供する。「市川学Ⅱ」の履修希望者数の目標を2028年度までにのべ40人以上とする。
④ 現代社会のニーズにあった都市型ビジネスの展開	スポーツビジネスやブライダルビジネス、コミュニティビジネスなど都市型ビジネス関連科目を含める形で毎年80科目以上の単位互換制度や、市川市の現代社会的課題を扱う共通開発プロ	市川PFの取り組み目標の実現に寄与できる科目5科目以上を含め合計40科目以上の単位互換科目を提供する。「市川学Ⅱ」の履修希望者数の目標を2028年度までにのべ40人以上とする。金

		グラム「市川学Ⅱ」を通じて、都市型ビジネスに対応できる人材を2028年度までにのべ150人以上育成するとともに、金融や租税に関する教育機会を確保していく。	融や租税に関する教育機会を確保していく。
⑤	地域社会の国際化に対応できる人材の育成	千葉商科大学CUC International Squareや和洋女子大学グローバル・ラウンジの利用により異文化交流体験や英語でのコミュニケーション力を高める体験型の学習機会を2028年度までの5年間でのべ5,000人以上の利用者に提供し、地域社会の国際化に対応できる人材を育成する。	大学コンソーシアム市川参画校の学生にグローバル・ラウンジを共同施設として開放することにより、2028年度までの5年間にのべ100人以上の学外利用者に英語でのコミュニケーションを高める体験型の学習機会を提供し、地域社会の国際化に対応できる人材育成に貢献する。
⑥	持続可能な社会への転換（SX）に向けた貢献	持続可能な社会への転換に向けて、2028年度までにのべ150人以上の環境意識の高い学生を地域社会に送り出していく。	持続可能な社会への転換に向けて、環境意識の高い学生を地域社会に送り出していく。 具体的には、市川市主催の「いちかわ環境フェア」に7人を参加させ、和洋女子大学ボランティアチームの市内ゴミ拾い活動に年間を通してのべ55人の学生を参加させ、地域住民の環境への意識の啓蒙活動や地域社会の環境維持に貢献する。
⑦	人生 100 年時代に向けた生涯学習への対応	大学コンソーシアム市川参加5大学の健康、教育、環境、商業など多岐にわたる専門分野を活かし、「いちかわ市民アカデミー講座」をさらに発展させることによって、年間12回以上の市民講座を開催して市川市民の生涯学習に対応していく。	本学の専門分野を活かし「いちかわ市民アカデミー講座」「公開講座」等市川市民を対象とした講座を年間3回以上開催して多くの市川市民に生涯学習の機会を提供する。
⑧	地域文化の理解と、市川地域の発展に向けた研究協働	市川の地域的特徴を活かし、同地域の発展に資する共同研究プロジェクトを毎年立ち上げる（共同研究を毎年1件以上）。また、地域文化に詳しい学生を2023年度までにのべ150人以上育成し、地域の発展に貢献していく。	市川の地域的特徴を活かし、同地域の発展に資する共同研究プロジェクトに毎年1件以上メンバーとして参加する。また地域文化に詳しい学生を育成するため、共同開発プログラム「市川学Ⅰ・Ⅱ」と通じて、「地域つながり力」を持った人材を2028

			年度までに40人以上を育成し、地域の発展に貢献していく。
⑨	都市型災害に強い地域づくりと災害時の相互連携	市川市内の教育機関や医療機関が連携して防災や街づくりに取りくむ。また、災害に強い地域づくりの一環として、取組目標⑥とも連動させつつ、大学コンソーシアム市川に所属する各大学の備品の実態を把握し、共同購入について検討していく。	大学コンソーシアム市川参画校における防災備蓄品の計画補充に基づき共同での防災備蓄品の購入を実施する。また市川消防署協力のもと、国府台コンソーシアムとの共同開催で防災の日イベント実施し、災害に強い地域づくりに貢献する。
⑩	男女共同参画社会にむけたキャリアパス構築支援	プラットフォーム参画大学の学生にキャリアパス構築の支援事業を進め、毎年80人以上の参加学生を募集する。	プラットフォーム参画大学の学生にキャリアパス構築の支援事業を進め、毎年15名以上の参加学生を募集する。
⑪	地域つながり力の素質をもった優秀な学生の確保	地域と教育機関が連携し、より良い教育のあり方を検討するとともに、プラットフォーム形成大学・短期大学が連携した学生募集活動を実施する。さらに、地域の初等教育に対する教育活動支援を毎年開催し、2028年度までにのべ2,000人以上の児童に教育活動支援の機会を提供する。	プラットフォーム形成大学・短期大学と連携し、オープンキャンパスでの来場保護者認知アンケート、留学生向け合同説明会、合同高校訪問等の学生募集活動を実施する。さらに、地域の初等教育に対する教育活動支援を毎年実施し、2028年度まで教育活動支援の機会を5回のべ100人以上に提供する。

【アウトカム目標】

プラットフォームのアウトカム目標	本学のアウトカム目標
プラットフォーム参加大学等の卒業時の平均学生満足度3.5以上	プラットフォーム参加大学等の卒業時の平均学生満足度3.5以上
プラットフォーム参加大学等の平均の県内就職率20%以上	プラットフォーム参加大学等の平均の県内就職率20%以上

以上、大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム中期計画に連動して、11の活動指標、2つのアウトカム目標を設定し、プラットフォームとの連動を推進する。

<2024年9月17日大学・大学院評議会承認>